「知」の集積と活用の場® バイオエコノミー推進人材事業

バイオ液肥利用推進シンポジウム

-地域資源の循環を支える技術とビジネスモデル-

主催：北海道大学大学院工学研究院循環イノベーション分野、一般社団法人日本有機資源協会
後援：北海道大学グリーントランスフォーメーション先導研究センター企画（持-31）ロバスト農林水産工学研究開発プラットフォーム

2026年11月26日（木）13:30～17:00
（交流会　17:20～19:20）

リアル会場＆オンライン配信(Zoom)

会場：馬事畜産会館 2F大会議室
(東京都中央区新川2-6-16)

《参加費》

シンポジウム：無料

交流会：4,000円（税込）

バイオ液肥の利用技術と先進事例を共有し、FIT終了後を見据えたバイオガス・バイオ液肥事業の新たな展望を探ります。
地域資源を循環させ、酪農経営と持続可能な農業を支える道筋をともに考えます。



《参加申込》

申込期限：　2026年11月19日(木) 17時迄

申込フォーム：https://forms.gle/LEYTFhN264xShXNU6

【お問合せ】一般社団法人日本有機資源協会
担当：土肥・村越
TEL：03-3297-5618／Email:techno@jora.jp

「知」の集積と活用の場® は農林水産省の登録商標です。
このシンポジウムは、令和8年度「知」の集積による産学連携推進事業のうちバイオエコノミー推進人材活動支援事業の助成を受けて実施しています。

◆プログラム

時　間	テーマ･内容	登壇者
13:30～13:35	開会挨拶	一般社団法人日本有機資源協会 会長　芋生 憲司
第１部		
13:35～14:15	【基調講演】 家畜ふん尿由来のバイオ液肥で目指す健全な窒素循環ー拡散駆動型微細藻類生産技術の開発ー北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク GAPファンド（スタートアップ創出プログラム）	北海道大学大学院 工学研究院 循環共生システム研究室 教授　石井　一英氏
14:15～14:45	【一般講演】 牛ふん由来のバイオガスとバイオ液肥の利用を支えるマネジメント事業の構築 令和８年度「知」の集積による産学連携推進事業のうちバ イオエコノミー推進人材活動支援事業	北海道大学大学院 工学研究院　学術研究員 土谷　樹生氏
14:45～15:05	【事例報告】 「生ごみ･し尿等を原料としたバイオ液肥の需給調整と地域での資源循環(仮題)」	福岡県みやま市 環境政策課 副島　智夫氏
15:05～15:25	「広域散布と耕畜連携によるバイオ液肥の利用拡大 (仮題)」	株式会社トーヨー養父バイオエネルギー 川内　栄治氏
15:25～15:45	「食品廃棄物由来のバイオ液肥の水田利用実証と地域循環への展開（仮題）」	県南環境保全センター株式会社／バイオガスエネルギーとわだ 今泉 慎吾氏
15:45～16:00	休憩	ー
第２部		
16:00～17:00	【パネルディスカッション】 「バイオ液肥の利用拡大に向けた課題と方策」（案）	パネリスト：第１部登壇者　ファシリテータ：北海道大学大学院工学研究院　循環共生システム研究室　教授　石井　一英氏
17:00	閉会	
17:20～19:20	交流会（同会場）	

本シンポジウムのお申し込みは
日本有機資源協会のウェブサイトをご覧ください。
https://www.jora.jp/news/31739/

一般社団法人日本有機資源協会
〒104-0033
東京都中央区新川2-6-16　馬事畜産会館301号室
https://www.jora.jp/

JORA
一般社団法人 日本有機資源協会